



令和元年 10月の園だより



令和元年 10月1日
小屋浦みみょう保育園

衣がえ (10月1日)

衣がえは、季節に合わせて衣類をかえることをいいます。衣がえとともに、年少・年中・年長組は制服着用となります。(名札もつけてください) 10月13日(土)までを移行期間としますので、天候に合わせて衣服を調整して登園してください。10月15日(火)からは制服着用をお願いします。乳児さんも、天候に合わせ衣服の調節をお願いいたします。



*日本には「たたむ文化」があり、衣類もただでタンスにしまえます。服がたためるようになると、自分で脱いだ服をたたんだり、洗濯物をたたむお手伝いをしてくれるようになります。

午睡について

- ・10月1日(火)から午睡時、パジャマを着用します。パジャマ袋にパジャマを入れて持ってきてください。
- ・午睡用の布団は季節に合った物をご用意ください。
- ・布団の持ち帰りは10月より2週間に1回となります。



～集団の中で育ち合う子どもたち～

日中はまだまだ暑く汗ばむこともあります。さわやかな風に、いよいよ秋の訪れを感じる頃となりました。

先日の「ふれあい保育参観日」には、多くの保護者やご家族をはじめ、おじいちゃん、おばあちゃん方にもお越しいただき、ありがとうございました。皆様の応援や拍手、そして、笑顔で楽しそうに遊びに参加して下さったお陰で、子どもたちも大いに盛り上がりを見せ、たくさんの笑顔を見ることができました。

季節が夏から秋へと移り変わる頃、お散歩や、小学校のグラウンドの遊具で遊ぶ機会が多くなり、いつの間にか走ることや、つかむ、ぶら下がるなど腕の力がついていたり、乳児は歩く、走ることがしっかりしてくるなど、目に見えて一人ひとりの体力がついてきていることに気づかされました。特に鉄棒では、子ども同士でお互い刺激を受け合い教え合うことで、またやってみようと何度も挑戦し、嬉しくなり少しずつ自信もつけていきました。

保育参観では子どもたちが、いろいろな運動遊びに意欲的にチャレンジしたり、一生懸命な表情や笑顔で体を動かして遊ぶ姿をご覧いただき、個の成長ぶりや集団の育ちを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

中には運動遊びに苦手意識を持っている子どももいます。一人ではなく友だちと一緒にふれあいながら楽しく遊んだり、体を動かすって気持ちいい、面白いと思える環境作りや遊びの工夫をし、苦手意識の解消や体力作りにも繋げていきたいと思っています。

また、子どもたちは身体の成長とともに、集団生活の場で、いろいろな人と関わり、内面の育ちも見せています。例えばトラブルや困ったことが起きた時、自分たちでルールやどうすればよいかを考える場面が多く見られるようになりました。先日、年中組の女の子が「私が先に持った」「私もはきたい」と、お互い譲ることができず青いスカートを引っ張り合っているのです。この様子をまるで自分のことのように困った表情で見ていた年少児の二人が「順番こよね」「あとで貸してって言うんよね」と顔を見合わせて言うと、この言葉を聞いた「私もはきたい」と、言った子は我慢し、スカートを手放し、ほかの遊具で遊び始めました。子どもたちは遊びの中で周りの状況をよく観て、子どもなりの判断もできるようになってきているとともに、子ども同士で育ち合っていることにあらためて気づかされました。

保育園ではこのような光景は日常茶飯事なのですが、何かルールに反したことやトラブルを起こした時に保育者がどのようにかわり言葉をかけるか、子どもたちは保育者をとてもよく観ています。子どもの自律性や主体性を育てることを考えた時、子どもたちはどう頭を悩ませ、どう動くのか、問題解決にすぐに大人が乗り出すのではなくなるべく見守るようにしています。相手の思いや状況を考えて自分で判断できるような育ちの機会をこれからも大切にしていきたいと思っています。

園長 舛野 裕子

秋といえば

読書の秋

読書を奨励する文化の日をはさんで2週間、読書週間があります。良い本が広く読まれるようにと開始され、親しまれるようになりました。良い本に出合えるといいですね。



スポーツの秋

10月の第二月曜日は体育の日です。昭和39年、日本初の東京オリンピック開会式を記念して制定されました。さわやかな季節、ちょっと汗ばむくらいの運動は、気持ちのいいものです。



秋祭り

収穫への感謝と、翌年の豊作を祈願するお祭りです。今年は、小屋浦八幡宮で秋祭りが行われます。鳥居も新しく建てられ幟もあがっています。神輿の復元や獅子面も修復され、昨年は中止となった小屋浦の伝統的なお祭りが楽しみです。



ぼくたちだって挑戦は楽しいよ (1歳児)



お家の人たちと一緒に笑顔も倍増でした